

結果報告

大会名	平成26年度第66回全日本総合ハンドボール選手権大会				
競技日	12月26日(金)	試合番号	3-7	回戦	2回戦
種別	男子・ 女子	会場	枇杷島SC ・愛知県体育館		
Aチーム			Bチーム		
広島メイプルレッズ			大阪体育大学		
得点合計	小計		小計	得点合計	
25	13	前半	11	21	
	12	後半	10		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

【戦評】

記載者氏名

宮島 涼

女子2回戦は広島メイプルレッズのスローオフで試合が始まった。試合序盤は一進一退の攻防が続く。広島は巧みなパス回しから15番高山のポストシュートで得点を取る場面が目立った。大学勢で唯一2回戦へ進んだ大阪体育大学も、粘り強いDFからの速攻とポストを活かした攻撃で喰らいつくも、広島が13-11で2点リードし前半を終了した。後半、攻撃的なDFからチャンスを掴んだのは広島。1番毛利の好セーブや、7番宋の華麗なバックハンドパスが光り、後半立ち上がりには5連続得点で試合を優勢に進める。大体大も3番北原のミドルシュートで応戦。試合終盤、広島の退場をきっかけに、大体大が連続得点で詰め寄るも、最大6点に広がった点差をひっくり返すことができず、25-21で広島が準決勝へ駒を進めた。